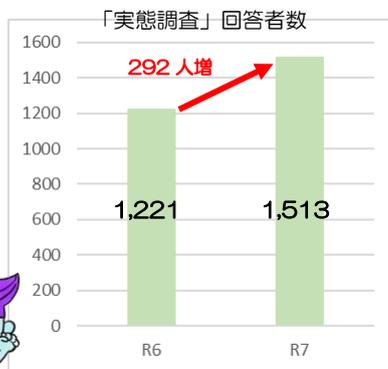


## 幼児教育に関わる実態調査・アンケート結果

この実態調査及びアンケートは、幼児教育の充実を目指す「宮城県幼児教育推進指針みやぎの学ぶ土台づくり」に関連した内容について、調査対象者の状況を調査し、その結果を、宮城県の幼児教育の更なる充実に役立てていくため、実施したものです。

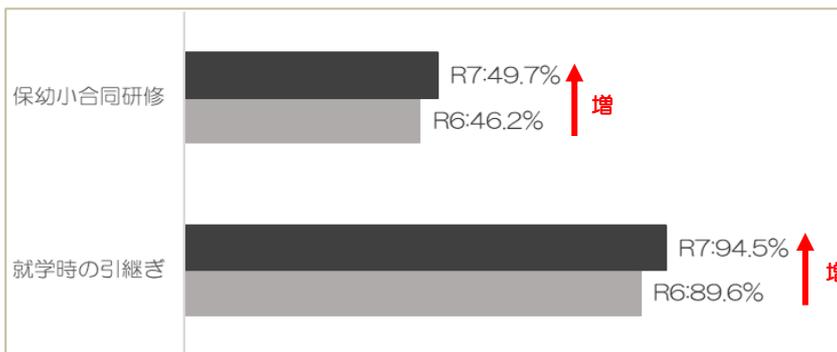
今年度は、実態調査・アンケートともに、令和6年度と比較し、回答者数が大幅に増加しました。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。



### 実態調査

●保幼小連携・接続のための取り組みとしてどのようなことを実施していますか。（回答一部抜粋）

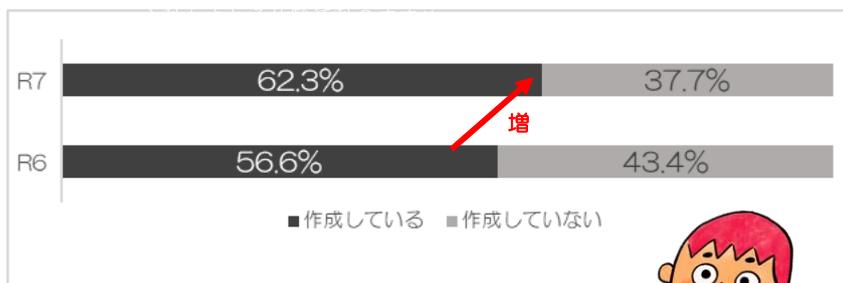
「保幼小合同研修」と回答した割合が**3.5ポイント増加**し、幼児教育と小学校教育の連携・接続を図ろうとする施設が増えていきます。



「就学時の引継ぎ」と回答した割合は**4.9ポイント増加**し、幼児教育と小学校教育の連携・接続の必要性・重要性の意識が高まっています。

●保幼小接続のためのアプローチカリキュラム又はスタートカリキュラムを作成していますか。

「作成している」と回答した割合が**5.7ポイント増加**したことから、引き続き、各市町村がそれぞれ接続期カリキュラム作成等の保幼小の連携・接続に取り組んでいく体制づくりを更に進めていきます。



### アンケート

●お子さんは毎日、朝ごはんを食べていますか。

朝食を「毎日食べている」「週に4~6日程度食べている」と回答した割合は**98.9%**であり、昨年度同様、高い割合を示しており、朝食の必要性についての理解が定着していることがうかがえます。

